

食卓・厨房用品出荷額の推移（都道府県）

単位：百万円

	平成2年		平成7年		平成12年		平成14年		平成15年	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
佐賀県	28,304	100	26,037	92	17,255	61	15,178	54	14,966	53
長崎県	18,115	100	15,027	83	10,231	56	8,364	46	7,538	42
岐阜県	100,411	100	83,718	83	57,887	58	45,883	46	42,456	42
愛知県	38,200	100	28,348	74	16,437	43	15,744	41	13,653	36
三重県	19,938	100	13,250	66	8,655	43	9,108	46	8,567	43
その他	51,473	100	41,150	80	25,809	50	22,279	43	23,898	46
合計	256,441	100	207,530	81	136,274	53	116,556	45	111,078	43

*工業統計、品目編

食卓・厨房用品の輸入量の推移は次のとおりである。

食卓・厨房用品の輸入量の推移（全国）

単位：トン

	平成6年		平成7年		平成12年		平成14年		平成15年	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
中国	5,069	100	9,773	193	43,485	858	55,547	1,096	68,941	1,360
イギリス	2,945	100	3,707	126	1,860	63	1,632	55	1,522	52
その他	4,269	100	7,585	178	8,140	191	8,023	188	7,781	182
合計	12,283	100	21,065	171	53,485	435	65,202	531	78,244	637

*貿易月報、中国からの輸入が急増したため平成6年を100とした

5. 過去3年の業務の概要

主要業務は次のとおりである。

研究開発

陶磁器及びファインセラミックス製造における競争力の底上げを支援することを目標として、

- ① 新技術、新機能を有する製品の開発
- ② 新用途、新分野製品の研究開発
- ③ 廃棄物、不要品の再利用の研究開発
- ④ 環境浄化機能や省エネルギーに関する研究開発

を行っている。平成16年度は13テーマを研究。

技術指導

陶磁器・ファインセラミックスの開発や生産技術全般について相談や、専門のアドバイザーや職員を生産現場へ派遣し訪問技術指導を行う。また研究会活動などを通じて新製品開発の支援を行う。

平成16年度は50企業を訪問。実地技術指導は702件、技術相談2,527件、技術指導契約は43件締結した。

さらに佐賀県海外技術員受入研修として、平成16年9月より平成17年2月までマレーシアより研修生1名を受け入れた。

依頼試験分析、設備機器の開放

企業等の依頼に応じて、陶磁器・ファインセラミックス原料、製品の化学分析、X線回折、耐火度、粒度分析、熱分析、鉛溶出量等の試験及び分析を行っている。また外部に使用させることができる設備機器については、使用を開放している。

平成16年度の試験依頼は5,289件、機器使用は652件。

技術情報の提供

得られた研究成果は、研究成果発表会や年次業務報告書の発行、研究資料及び図書の整備を行うとともに、ホームページに記載し、成果の普及をはかっている。

全国試験研究機関作品展「陶&くらしのデザイン展2004」に出展した。全国7会場の巡回展であった。

過去3年間の研究活動の要約は次ページ以下のとおりである。

区 分	項 目	研究年度
研究業務	所内プロジェクト研究	
	・伝産地・有田からのライフスタイルに即した生活提案型食器の開発	15・16
	・一般磁器の耐熱性向上に関する研究	14・15
	・易熔化性磁器の研究開発	14
	・現在の食生活環境に対応した製品開発	14
	経常研究	
	・IH調理器対応型陶磁器製調理器具の開発	15・16
	・強化磁器製給食食器の高度化に関する研究	15・16
	・新分野新製品の開発	15・16
	・微構造制御光触媒材料の開発と応用	15・16
	・電気化学的プロセスによる有害物除去システムの開発	15・16
	・産業廃棄物の環境低負荷型活用の開発	16
	・高機能性釉薬の開発	16
	・廃石膏型の再利用技術に関する研究	16
・釉薬及び釉薬表面の改質によるメタルマーク抵抗性の改善に関する研究	14	

区 分	項 目	研究年度
研究業務	共同研究	
	・コーティングによるセラミックスの表面改質	14・15・16
	・産業廃棄物を活用したリサイクル製品の開発	14・15
	・窯業廃棄物を利用した食器等の開発	14・15
	・水酸アパタイトの応用化研究	14・15
	・CAD/CAM 技術を利用した陶磁器製品開発	14
	・洋風食器の開発	14
	・新分野新製品の開発	14
	・NO _x 分解用のセラミックス触媒担体の開発	14
	・酸化チタンコーティング剤の改良と環境浄化への応用	14
地域産業集積中小企業活性化事業（中小企業技術開発産学連携促進事業）	・CAD/CAM 技術を利用した型製作の自動化	15・16
	・コロイド技術による新規発色剤の開発	15
	・転写印刷による集積型センサの製造技術に関する研究	14
受託研究	・連続式マイクロ波水熱装置を用いた水酸アパタイトの合成と特性評価	15・16

区 分	項 目	研究年度
技術支援事業	ノベルティ製品の開発	14・15・16
指導業務	実地技術指導	14・15・16
	技術相談	14・15・16
依頼業務	製品及び陶磁器原料の試験分析	14・15・16
	デザイン設計試作	14・15・16
	設備使用	14・15・16
その他	技術情報誌の発行	14・15・16
	情報収集・提供	14・15・16

過去5年間の技術指導業務の実施状況は次のとおりである。

技術指導業務内容と実施状況

項 目	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年
依頼試験業務(件)	4,290	4,518	4,125	4,841	5,289
設備機械使用(件)	355	360	487	543	652
技術指導業務(年間契約)	32	32	23	29	43
実地技術指導(件)	709	727	870	865	702
技術相談(件)	1,381	1,380	1,906	2,168	2,527
訪問技術指導(企業)	60	66	52	70	50
研究発表 誌上発表(件)	7	8	8	9	10
口頭発表(件)	42	36	29	31	34
試作品展示会(件)	20	16	13	14	12
研究会講演会講義への参加(件)	14	17	17	12	12
報道発表(件)	-	-	-	11	3
技術指導員(人)	18	17	17	17	17

* 佐賀県窯業技術センター業務報告書より

* 報道発表は15年度からの統計

6. 過去5年間の収支の状況

過去5年間のセンターの収支状況は次のとおりである。

収入の状況は次のとおり。

(単位;千円)

項 目	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	合計
雑入等	338	139	132	145	4,129	4,883
使用料・手数料	8,140	8,463	9,581	9,793	11,523	47,500
特許料	839	659	1,228	2,173	2,900	7,799
国庫補助金収入※1	21,154	10,968	394	35,359	74,700	142,575
収入合計	30,471	20,229	11,335	47,470	93,252	202,757

支出の状況は次のとおり。

(単位：千円)

項 目	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	合計
職員給与等※2	195,870	198,343	200,684	194,526	197,994	987,417
報酬（嘱託職員分）	3,524	1,776	1,776	1,752	1,740	10,568
職員手当等	350	540	565	490	640	2,585
共済費	869	629	485	405	401	2,789
賃金（日々雇用職員分）	2,790	2,564	1,600	1,561	1,561	10,076
人件費計	203,403	203,852	205,110	198,734	202,336	1,013,435
報償費	715	469	649	773	765	3,371
旅費	5,530	5,452	4,887	4,658	4,368	24,895
需用費	31,963	31,534	33,232	27,021	26,608	150,358
役務費	4,614	4,275	3,706	2,955	2,718	18,268
委託料	37,971	36,170	37,418	36,454	38,121	186,134
使用料及び賃借料	1,554	1,043	999	1,008	694	5,298
原料費	1,890	1,833	1,631	1,511	941	7,806
工事請負費					7,665	7,665
備品購入費	48,735	26,103	11,388	49,307	87,081	222,614
負担金及び交付金	234	237	171	163	1,414	2,219
公課費	8	8	8	8	8	40
その他支出計	133,214	107,124	94,089	123,858	170,383	628,668
支出合計	336,617	310,976	299,199	322,592	372,719	1,642,103
収支差額	-306,146	-290,747	-287,864	-275,122	-279,467	-1,439,346
人件費率※3	64.5%	67.9%	68.6%	69.2%	67.9%	67.6%

※1 センターの備品購入に関する国庫補助金

※2 県庁が負担する職員の給与等

※3 人件費計 ÷ (支出合計－国庫補助金収入)

支出項目の備品購入費は主要機器の購入で、平成16年度は全額国庫補助による電界放出形走査顕微鏡45,675千円、ガスクロマトグラフ質量分析装置18,900千円、マイクロ波連続式化学反応装置3,440千円、熱画像計測装置4,387千円、県単独支出の電気炉3,150千円の購入などがある。平成15年度は、全額国庫補助による分

光光度計4, 599千円、X線回折装置25, 998千円、半額国庫補助によるモデリングマシン6, 961千円の購入などがある。

試験研究費予算の状況は次のとおり。

単位：千円

区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
研究費合計	60,040	40,412	18,993	29,200	28,197
ファインセラミックス部の研究					
石膏廃材を利用した新規多孔質素材の開発	572	552			
酸化チタンコーティング剤の改良と環境浄化への応用	801	569	541		
コーティング技術を応用したセラミックス表面の高機能化	657	565			
化学分析による原材料評価の研究	858				
酸化物超微粒子の簡易プロセス合成		689	441		
NOx分解用のセラミックス触媒担体の開発		1,070	803		
水酸アパタイトの応用化研究			738	800	
コーティングによるセラミックスの表面改質			1,137	856	1,258
微構造制御光触媒材料の開発と応用				5,613	894
電気化学的プロセスによる有害物除去システムの開発				1,934	905
廃石膏型の再利用技術に関する研究					724
粘土鉱物の新材料への転換技術開発	1,088				
ファインセラミック部合計	3,976	3,445	3,660	9,203	3,781

単位：千円

区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
技術開発担当の研究					
代表的な粉碎機から調製された陶土の物性に関する研究	790				
ムライト質硬質磁器用陶土製品化技術の研究	880	830			
易熔化性磁器の開発	510	1,258	860		
超耐久性陶磁器形成用型材の研究開発	3,067				
釉薬および釉薬表面の改質によるメタルマーク抵抗性の改善に関する研究	578	494	436		
産業廃棄物を活用したリサイクル製品の開発		4,534	857	777	
陶磁器廃棄物を利用した食器等の開発			725	775	
一般磁器の耐熱性向上に関する研究			1,435	349	
IH 調理器対応型陶磁器製調理器具の開発				1,995	1,559
強化磁器製給食食器の高度化に関する研究				639	645
産業廃棄物の環境低負荷型活用の開発					821
高機能性釉薬の開発					1,253
技術開発担当合計	5,825	7,116	4,313	4,535	4,278